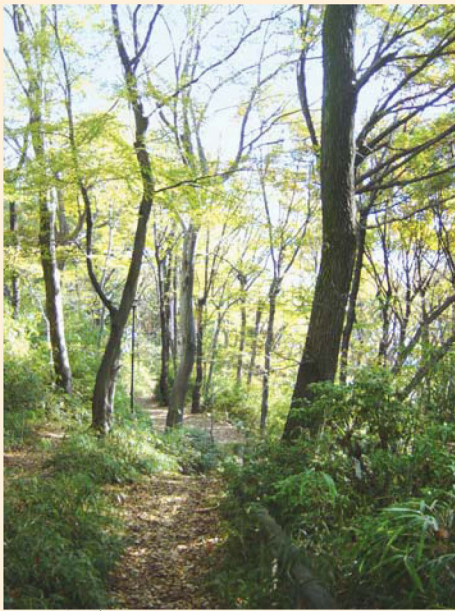




12 武蔵台公園の雑木林



34 甲州街道



33 旧甲州街道（左が高礼場）



32 四谷・日新町の田園（9月）



31 府中四谷橋



30 関戸橋



13 東京農工大学の校舎とけやき並木



14 住宅地や道路の景観に配慮した府中刑務所の新しい塀と歩道



15 府中の森芸術劇場



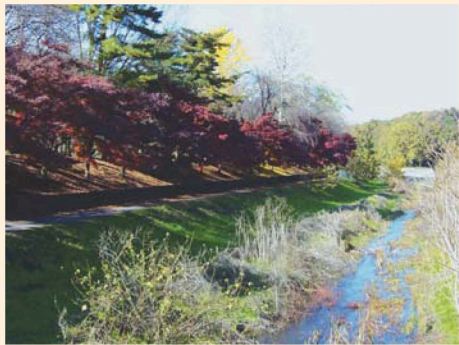
16 都立府中の森公園



17 景観に配慮した緑豊かな住宅地（多磨町一丁目地内）



18 紅葉の都立武蔵野公園（11月）



18 野川の水辺のある都立武蔵野公園

府中の美しい景観をご紹介します

このガイドマップは、府中の代表的な景観である、けやき並木、浅間山、府中崖線、多摩川をキーワードに、府中らしい様々な景観の見所を収録したものです。

楽しくご覧いただき、府中の景観への思いをさらに深め、新たな発見を得て、今後の身近な景観への取組みのきっかけにいただければ幸いです。また、現地にお出掛けの際には、ぜひ携帯していただき活用ください。

府中の景観の成り立ちと特徴

府中市には、多摩川や府中崖線、浅間山など四季折々の豊かな表情をみせる自然が残り、けやき並木や大國魂神社など永い歴史と伝統に培われた文化的な史跡や名所も数多くあります。また、市内には、郷土の発展と自然や歴史、文化の保存を願う多くの人々の努力により守り、育てられてきたまちの魅力があふれています。

古来より受け継がれ積み重ねられてきた永い歴史と豊かな文化、そして、季節感に富む美しい武蔵野の自然とが交わるところに、府中らしい景観の大きな魅力があります。

- 府中崖線と多摩川が府中の景観の土台を形づくっています。府中崖線と多摩川の間に広がる南の低地部では水田と用水が織りなす田園風景が見られます。また、府中崖線から北の台地部では樹林地や畑地のある武蔵野の風景が見られます。

- 古代には、武蔵国の国府が置かれ、以降、政治の中心地として、交通の重要な拠点として発展してきたことにより、大國魂神社や高安寺などの歴史をとどめる建造物が多く、国府を中心とする幹線道路がつくられました。また、府中崖線沿いでは遺跡が多数確認されています。

- 江戸時代になると、旧甲州街道が整備され宿場町として栄え、大正末期から昭和初期にかけて多磨霊園や東京競馬場、府中刑務所などの大規模施設が建設され、現在に至っています。

- 現在では、郷土の森博物館や府中の森公園など大規模な公園や緑地が多く、児童公園などの身近な公園の整備も進んでいます。さらに、幹線道路や水路敷を利用して緑道が整備されており、これらの水と緑をつなぐネットワークが形成されつつあります。



旧甲州街道（大正期）



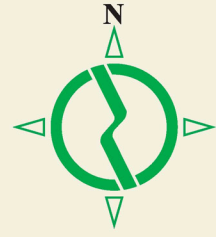
府中崖線（西府町）と水田地帯（昭和30年ごろ）



是政橋（昭和29年）



多摩川（大正5年）



馬場大門けやき並木（大正期）



くらやみ祭り（大國魂神社例大祭・大正期）



浅間山（昭和30年ごろ）



甲州街道（右手前は市立第一小学校）（昭和31年）



府中崖線（いききの道）（昭和29年）



19 多磨霊園のシンボル塔



19 多磨霊園のサクラ並木（ソメイヨシノ・4月）



20 都立武蔵野の森公園



21 東京外国語大学の校舎

〔表紙写真の番号表〕



*このガイドマップは、平成16年度府中市都市景観賞（市制施行50周年記念事業）の受賞対象をもとに、「景観巡り」（市民参加の市内まち歩き）の実施を経て、府中市景観ガイドマップ編集会議市民委員のご協力により作成したものです。



23 郷土の森博物館の梅まつり（2・3月）



23 市民健康センターの修景池と大観蓮（大賀博士に発見、開花された古代ハス 7月）



27 下河原緑道



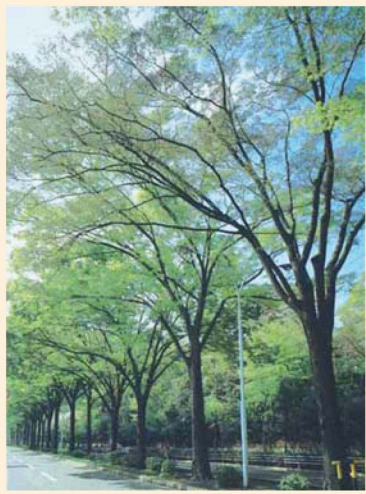
23 レング田（4月）



25 是政橋



24 花火大会（東京競馬場）



23 競馬場通りのけやき並木



22 稲城大橋と水門